

保Ⅲ	科目名：保健と食と栄養（仮）	単位数：2単位 授業形態：講義
担当講師：【保健】有馬 祐子、【食と栄養】島本 和恵		
<p>テキスト：</p> <p>【保健】 『子育てハッピーアドバイス 知っててよかった 小児科の巻』（1万年堂出版） 『子どもの保健 I ー子どもの健康と安全を守るためにー』（学建書院）</p> <p>【食と栄養】 『基本マスター・フード&amp;クッキング』（実教出版） 『子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養』（萌文書林）</p>		
<p>参考文献：</p> <p>講義の中で適宜紹介する。</p>		
<p>講義概要：</p> <p>&lt;講義日程&gt; 平成 29 年 8 月 20 日（金） 9:20～16:40 ・ 21 日（月） 9:20～15:00 28 日（火） 9:20～16:40 ・ 29 日（水） 9:20～16:40</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <p>【保健】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康的に生活する」とは何かを考察し、子どもの発育・発達に望ましい生活環境・人的環境について理解できる。</li> <li>・子どもの健康・安全を支える立場での観察点、危機管理・対応について習得できる。</li> </ul> <p>【食と栄養】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育との関連の中で保育者として対応できる知識を身に付け、保護者への支援に繋がる知識を得る。</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>【保健】担当講師 有馬祐子 第 8～15 講（8 月 28 日（火） ・ 29 日（水））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康とは何かを考察する。</li> <li>・子どもの身体発育・発達の理解、子どもの疾病とその予防、子どもを取り巻く環境、衛生管理、安全管理について学習する。</li> <li>・子どものかかりやすい感染症やアレルギーなどについて理解し応急手当の基礎知識を学習する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの疾病と保育       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴及び予防と適切な対応</li> <li>(2) 子どもの生活環境と精神保健・子どもの心の健康とその課題</li> </ol> </li> <li>2. 保育環境の保健・衛生管理と安全管理       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育環境整備と保健</li> <li>(2) 母子保健対策と保育</li> <li>(3) 保育現場における衛生管理</li> <li>(4) 保育現場における事故防止及び安全対策並びに危機管理</li> </ol> </li> </ol>		

**【食と栄養】担当講師 島本和恵 第1～7講（8月20日（月） ・21日（火））**

- ・栄養と食生活は、単に栄養素を摂取するだけでなく、心身の順調な発育・発達を促し、健康な生活を営むための基礎となることについて学習する。
- ・子どもの発達段階における栄養や食生活の特性・重要性を理解する。
- ・必要とされる食育の在り方や方法を考察する。

**1. 栄養に関する基本的知識**

- (1) 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
- (2) 食事摂取基準と献立作成・調理の基本

**2. 子どもの発育・発達と食生活**

- (1) 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活
- (2) 幼児期・学童期の心身の発達と食生活

**3. 食育の基本と内容**

- (1) 食育における養護と教育の一体性
- (2) 食育の内容と計画・評価及び環境
- (3) 地域の関係機関や職員間の連携
- (4) 食生活指導及び食を通じた保護者への支援

**4. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養**

- (1) 疾病及び体調不良・障害のある子どもへの対応
- (2) 食物アレルギーのある子どもへの対応

**予習・復習・課題等：**

**【保健】**

テキスト・参考文献に基づいて示す。

**【食と栄養】**

2日分の食事および間食を写真に撮り、1日分毎に1枚（A4）の紙に貼り付け、本講座初日（8月20日）に持参してください（飲料類・菓子類も含む）。

**評価方法：**

**【保健】** レポート

**【食と栄養】** レポートおよび試験